

# ひこね 市議会だより



## 小学生の稲刈り体験

《平成30年(2018年)9月28日》  
河瀬小学校の5年生を対象として、農業に関心を持ってもらうために地域の農業従事者が主体となって実施しました。

平成30年6月臨時会(6月28日、7月10日)  
平成30年8月臨時会(8月21日)  
平成30年9月定例会(9月3日～10月11日)

- 6月・8月臨時会で決まったこと … 2
- 9月定例会で決まったこと … 3～9
- 代表質問…………… 10～12
- 個人質問…………… 13～21
- お知らせ…………… 22～24

# 6月臨時会の結果

6月28日から7月10日までの6月臨時会の結果についてお知らせします。

議案2件のうち、1件を原案のとおり可決、1件を否決しました。

議案第52号に対して4名（小川喜三郎議員、奥野嘉己議員、獅山向洋議員、谷口典隆議員）、議案第53号に対しては3名（獅山向洋議員、山内善男議員、辻真理子議員）から個人質疑があった。

## 6月臨時会議案の審議 結果

### ■ 賛否が分かれた議案

【賛否が分かれた議案・審議結果】（○：賛成 ●：反対 ー：議長）

項目	番号	件名	結果	辻真理子	獅山向洋	北川元気	谷口典隆	夏川嘉一郎	小川喜三郎	赤井康彦	安藤博	八木嘉之	矢吹安子	奥野嘉己	野村博雄	小菅雅至	和田一繁	上杉正敏	中野正剛	山内善男	山田多津子	杉原祥浩	長崎任男	安澤正勝	安居正倫	西川正義	馬場和子	
議案	52	調停の申立てにつき議決を求めることについて	可決	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	53	彦根市民体育センター再開の是非について市民の意思を問う住民投票条例案	否決	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

8月21日の8月臨時会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案1件を原案のとおり可決しました。

# 8月臨時会の結果

議案第54号に対して4名（山内善男議員、辻真理子議員、奥野嘉己議員、獅山向洋議員）から個人質疑があった。

## 8月臨時会議案の審議 結果

### ■ 賛否が分かれた議案

【賛否が分かれた議案・審議結果】（○：賛成 ●：反対 ー：議長）

項目	番号	件名	結果	辻真理子	獅山向洋	北川元気	谷口典隆	夏川嘉一郎	小川喜三郎	赤井康彦	安藤博	八木嘉之	矢吹安子	奥野嘉己	野村博雄	小菅雅至	和田一繁	上杉正敏	中野正剛	山内善男	山田多津子	杉原祥浩	長崎任男	安澤正勝	安居正倫	西川正義	馬場和子	
議案	54	平成30年度（2018年度）彦根市一般会計補正予算（第3号）	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



10月11日に閉会した9月定例会の結果についてお知らせします。

予算関係6件、決算3件、条例関係6件、その他議案8件、諮問8件を審査し、全て原案のとおり、可決、同意、認定、適当と認める、審査庁の見解のとおり棄却すべきとしました。

また、決議案1件を可決しました。

# 9月定例会の結果

## 入札監視委員会運営事業

11万6千円

市が発注する建設工事およびこれに関連する調査、測量、設置等の委託業務について、入札および契約の透明性および公正性の確保を図るため、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」、「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」等に基づき、市長の附属機関として、彦根市入札監視委員会を設置するための経費です。

〈事業内容〉

- ・委員会の設置は、平成30年10月の予定
- ・会議は、原則公開
- ・平成30年度は、2回開催（委嘱と制度説明1回・調査審議1回）
- ・委員は5人以内で、任期は2年
- ・対象は、設計金額が130万円超の建設工事およびこれに関連する調査、測量、設計等の委託業務とし、1回の会議では、委員により抽出された5から10件程度の案件を調査審議

## 幼稚園空調設備設置事業

924万7千円

近年の猛暑による夏季の熱中症対策として、教育環境の改善等を図ることを目的に稲枝東幼稚園（保育室2室）の空調設備設置のための経費です。



▲空調設備イメージ

## ひこね市文化プラザおよびみずほ文化センター 指定管理業務債務負担行為額

8億6,583万7千円

ひこね市文化プラザおよびみずほ文化センターの平成31年度から平成35年度までの管理運営について、指定管理者として株式会社ケイミックスパブリックビジネスを指定することに伴い、必要となる経費です。



▲ひこね市文化プラザならびにみずほ文化センター

## 小学校給食民間委託業務債務負担行為額

4億5,900万円

城北、鳥居本、高宮、城西小学校において、平成31年度から平成35年度まで給食調理業務委託を実施するに当たり、平成30年度中に事業者を選定するために必要となる経費です。



## 荒神山自然の家指定管理業務債務負担行為額

2億7,204万4千円

荒神山自然の家の平成31年度から平成34年度までの管理運営について、指定管理者として高木・技研特別共同体を指定することに伴い、必要となる経費です。



▲荒神山自然の家

※債務負担行為とは、複数年度にわたる契約を結ぶ場合など、あらかじめ後年度の支出について限度額と期間を定めるものです。(地方自治法第214条)

## 予算常任委員会

平成30年度(2018年度)  
彦根市一般会計補正予算(第4号、第5号)を可決

予算常任委員会は、9月12日と19日に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

### 【審査】

- ・議案第55号、議案第56号、議案第57号、議案第58号、議案第75号、議案第76号

### 【主な内容】

- 議案第55号 質疑
    - Q 今回、小学校給食民間委託業務を導入する4小学校に栄養職員がいないのはなぜか。
    - A 職員定数の中で他校と兼務しているため。
    - Q 入札監視委員会の目的と役割は。
    - A 公正な立場での入札監視を行うもの。
    - Q みずほ文化センターが指定管理になる理由は。
    - A 事業内容や設備管理面の効率化と人材確保から。
  - 議案第75号 質疑
    - Q 台風21号被害は予備費を早く活用すべきでは。
    - A 一部活用しているが、被害大のため補正予算で行う。
  - 議案第55号 討論
    - 反対 小学校給食民間委託業務では偽装請負が心配される。指定管理では、労働者の職が失われることから反対する。
    - 議案第75号 討論
      - 反対 生産基盤整備推進事業の政策転換は、年度当初に方針を明らかにすべきであるから反対する。
- ・【結果】  
議案はいずれも原案のとおり可決

## 市民産業建設常任委員会

彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案を可決

市民産業建設常任委員会は、9月18日と20日に委員会を開催し、1件の議案ならびに1件の諮問について慎重に審査しました。

### 【審査】

- ・議案第62号
- ・諮問第8号

### 【主な内容】

- 議案第62号 質疑
    - Q 新たに手数料条例第3条5の2に今までなかった手数料2万7千円が追記されているがどうか。
    - A 接道規制に関する合理化が図られたことにより手数料を定めるものである。国交省令で定める幅員4メートル以上の農道等に接する延べ面積200㎡以内の一戸建て住宅については、全国的に許可の実例が多いことから建築審査会の同意を必要とせず、認定することができるようになった。
    - Q 条例第3条31の2には仮設興行場等の建築の許可の申請に対する審査の手数料が16万円となっているが市内ではまるる事例はあるのか。
    - A 当市において国際的規模の会議や競技会、その他として安全上、防火上、衛生上、支障がなく公益上やむを得ない場合において建築審査会の同意を得たうえで許可することができるとなっております。実際にこうした物件が出てくることも考えられる。
- ・【結果】  
議案は原案のとおり可決  
諮問は審査庁の見解のとおり棄却されるべきとする

## 企画総務消防常任委員会

彦根市入札監視委員会条例案など  
議案3件を全て可決

企画総務消防常任委員会は、9月21日に委員会を開催し、議案3件などについて慎重に審査しました。

【審査】

・議案第59号、議案第60号、議案第61号

【主な内容】

○議案第59号 質疑

Q 基金は、一般会計からの繰出しとピンバッジの売上げの一部によるものだけで企業や市民からの寄付金を募ることは考えていないのか。

A 県も基金を設けられるため競合が懸念される。基金の中心は一般会計からの繰出しが中心になると思う。

○議案第60号 質疑

Q 地方自治法施行令違反が現に発生したことを鑑みれば、入札監視委員会が果たすものは何か。

A 適正な入札となるようコンプライアンスの醸成を図っていく。

○議案第60号 討論

賛成 事務的な審査にならないように、真に入札監視の機能が発揮されることを求め、賛成する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

【所管事務調査】

○本庁舎耐震化整備事業に関する主な質疑

Q 調停と耐震化工事のスケジュールは。

A 2回目は10月17日、3回目が11月19日である。耐震化工事の竣工は早くして平成32年6月から8月ごろになる。

付託議案3件は全会一致で  
2件は賛成多数で5議案すべて可決

福祉病院教育常任委員会は、9月25日に委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第63号、議案第64号、議案第65号  
議案第66号、議案第67号

【主な内容】

○議案第65号 討論

反対 ひこね市文化プラザとみずほ文化センターの指定管理にあたって、専門性のある人材を確保していくことこそが、地方自治体の役割である。指定管理者制度そのものが、不安定な雇用形態であることから反対する。

○議案第66号 討論

反対 荒神山自然の家の指定管理にあたっては、市としての努力は解るが、もともと経費削減が大前提である。公的施設の目的にふさわしい住民サービスの上をしないといけないが、それが経費削減により従事する労働者の条件が悪化する。その点で自治体の責任の後退につながるから反対する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

## 福祉病院教育常任委員会

## 議会改革特別委員会

委員会のインターネット中継ほか  
2件について審議

7月19日に開催した委員会では、①「委員会のインターネット中継」について、②「災害発生時の議員の行動」について、および③「滋賀大学経済学部との連携」についての3件を議題として協議を行なった。

まず1点目については、本庁舎の増築工事に併せて増築棟の委員会室に導入する予定だったが、この度の不適切な契約による工事の中断等により、当初の予定より1年以上の延伸が決定的であることから、現在の第三委員会室での導入をすべきかどうか、改めて検討する必要がある。委員からは「いち早くとは思うが今の第三委員会室ではできない。仮に設置したとしても財政が逼迫している中、二重投資となることから今は我慢しなければならない。」や、「市民は委員会中継を待つておられる。この時代、カメラと三脚があれば定点で全体を撮ることはできるので配信できるのではないか。」といった意見が出された。

今の第三委員会室に新たな施設に導入予定の機材と同等のものを設置する事はスペース的にも困難であることや、5年契約でのリース料金を予算化していることなど事務的にも見直さなければならぬことから継続審議していく事となった。

続いて2点目について、災害時対応プロジェクトチームの座長から災害発生時の対応要領の案等について説明があった。

この要領は、当市において地震その他の災害が発生したときに議会および議員が彦根市災害対策本部と連携を図り、市民の安全の確保に資するため、議員自らが迅速かつ適切な対応がとれるよう必要な事項を定めるもの。委員からは「市の災対本部との連携についてマニュアルや連絡網なども必要ではないか。」や「今後のタイムスケジュールは。」といった意見が出され、「対応マニュアルは危機管理室と話をして作成する。併せて連絡網も作成していく。来年度からは市の防災訓練にも参加していく事も考えており年内には周知できるように作業を急いで進める。」との方針が示された。

最後に3点目については、昨年の8月1日に締結し、毎年8月1日で自動更新する協定になっている。この1年連携をしてきて一定の成果が見られることから、8月1日以降も継続する事を確認した。

## 市庁舎耐震補強・増築・改修工事にかかる工事請負契約に関する調査特別委員会

事実の解明と再発防止策を提言し  
委員会を終結

8月22日に第6回調査特別委員会を開催し、これまで行った調査結果をもとに、調査報告書案について審査を行った。

審査の中で出された意見として、調査事項(2)の工事請負契約の「疑惑」について具体的な内容の再確認が委員から出された。委員長見解として「疑惑」とは金銭の授受および市長と業者の裏約束等を想定していたことであり、調査の結果、このような疑惑について、特定するものは出なかったことを報告書の結論とする旨を述べた。

また、第5回委員会で執行部から説明のあった経過報告書の作成過程に関して、山根前副市長主導によるものであるとの発言は事実であり、その発言内容を報告書に入れるべきであるという意見が出された。一方で、この発言は本委員会の調査項目の範囲外であり、また、報告書は記録の読み込みと証人尋問から得られた内容からまとめるべきであり、報告書には入れるべきではない等の意見が示された。議論の結果、証人尋問等を経て得られた調査の結果を結論として載せることとした。

しかし、調査を進める中で、本委員会として執行部の経過報告書の作成に係る発言や資料内容の取扱いに関し、反省すべき点もあるとして、報告書に補記することも同時に決定し、全委員の賛同で報告書が議決された。

最後に、本委員会が設置されてからの経過を振り返り調査項目について、各委員のご協力を得て、様々な観点からの事実関係を調査することができ、調査報告書として一定の結論を出すことができたこと。また、再発防止についても「委員会からの意見、提言」とおりまとめられたこと。以上の点から本委員会の所期の目的は達成されたものと判断し、本委員会を終了することについて、全会一致で決した。

## 決算特別委員会を設置

議案第68号、69号、77号を審査するため、決算特別委員会を設置しました。

委員	※◎ = 委員長	○ = 副委員長					
◎西川 正義	○八木 嘉之	中野 正剛	杉原 祥浩	辻 真理子			
野村 博雄	山田 多津子	小菅 雅至	小川 喜三郎	夏川 嘉一郎			

### 各常任委員会所管事項の主な質疑

#### 企画総務消防

**(歳入)** 市税収入未済額が減少した理由、市税滞納繰越分の収納率が下がった理由、臨時財政対策債が減額となった理由、不動産売払収入の詳細等

**(歳出)** 働き方・業務改革の推進による成果、ICT化による事務効率化への見解、地域おこし企業人交流プログラム負担金が増額となった理由、ふるさと納税関連業務委託の内容、高圧電力に係る新契約の内容、Jアラートシステム変更委託料の内容、救急救命士配置にかかる現体制と今後の計画、消防操法大会出場分団交付金の内容等

#### 市民産業建設

**(歳入)** 物品売払収入の内訳およびアルミ缶の取扱

**(歳出)** 番号制度対応事業の不用額の理由、戸籍一般経費に係るコンビニ交付の実績、リサイクル活動推進事業奨励金に係る不用額の詳細および回収量減少への対策、有害鳥獣駆除対策事業補助金の内容と成果、農業振興地域整備計画変更業務の実績と進捗状況、「住もうよ!ひこね」リフォーム補助事業の実績と経済効果、城まつりパレード等の行催事業およびインバウンド観光推進業務の成果、除雪対策経費の不用額が大きくなった理由等

#### 福祉病院教育

**(歳入)** 保育所と幼稚園の使用料の差と受益者負担の公平性の関係に対する見解

**(歳出)** 福祉センター施設計画策定委託に係る事業所との契約の経過、高齢者緊急保護委託および24時間対応型利用制度支援事業の内容と実績・今後の見込、子ども・若者総合相談センターの実績、障害者の一般事業所への就労状況と支援体制、がん検診事業に係る実績と受診率を上げるための取組、教育研究所の業務内容と研究成果、図書館開館時間延長に伴う利用実績の推移と費用対効果等

### 委員会での討論

#### 議案第68号、第77号に対して、反対の立場から

市税の滞納に対する差押件数が多くなっている。かつては、各家庭に出向き、滞納者それぞれの生活実態に寄り添い、どういった方法で払えるのかという取り組みをしていた。現在では、超過差押により、滞納世帯に対して窓口に出向かせるためのツールとして用いられている。そのように用いてはならないという政府からの通知もあり、問題である。

人権推進経費では、教育部門と合わせて約1億3千万円が使われている。特にヒューマンアクターは、17学区のうち12学区に導入されているが、残りは自主的な研修をされている中、多額の経費をかけることは疑問であり、見直しが必要である。

国民健康保険特別会計では、保険料の滞納世帯が2488件もあり、これだけ多いと保険料が高いと言わざるを得ない。財政調整基金は7億4千万円になり、彦根市の規模では4億3千万円が最低限の規模と言われていることから、これを保険料の引き下げに使うべきである。

以上のことから反対する。

#### 議案第68号、第69号、第77号に対して、賛成の立場から

移住・定住促進のために、家賃補助・住宅取得補助を活用していること、婚活支援事業を1市4町の広域事業に拡充して推進されたことを一定評価する。

収納率向上のための努力により収入未済額が減少したことや滞納整理の積極的な取り組みは一定評価できるが、不納欠損にあたっては慎重厳正な取扱いをお願いする。

ごみ減量化の取組にあたっては、県ワースト1位だった排出量が880グラムへと減量が図られた。

観光事業に関する補助金の経済効果については、費用投入に対する入込数の比較から、今後も一層の検証と改善を要する。

妊婦健診や産後ケア事業は広報の充実策をとることで事業の継続につながると考える。

全国学力学習状況調査の結果から、学力向上対策は最重要課題であり、国語力向上のための方策、学校図書を活用などあらゆる手段を講じていただきたい。

実質収支・連結実質収支ともに黒字となっている。実質公債費比率・将来負担比率は前年度より悪化しているものの、早期健全化基準を大幅に下回っている。各事業会計においても資金不足は発生しておらず、経営健全化基準を達成している。また財政調整基金繰入金について、当初予算では18億8千万円を取り崩す予定だったが、決算において5億3千万円に抑えられた。ただし、中期財政計画で示されたように、現下の逼迫した財政状況を踏まえた上で、市税収入の安定的な確保が容易ではない中で、限られた財源を有効に活用し、将来予想される大規模な事業を円滑に実施していくためには、より効率・効果的な財政運営が求められている。

財源確保の視点も加えた行財政の総合的な方針を早急に策定し、着実に市民福祉の向上、将来を見据えた「強い彦根」の構築に着実に取り組んでいただきたい。

以上のことから賛成する。

**【結果】 いずれも原案のとおり認定**

# 9月定例会の議決結果

## 9月定例会 議案の審議結果

会期：9月3日～10月11日

### ■ 全員賛成の議案等

項目	番号	件名
議案	56	平成30年度(2018年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	57	平成30年度(2018年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	58	平成30年度(2018年度)彦根市病院事業会計補正予算(第1号)
	59	彦根市国民体育大会等運営基金の設置、管理および処分に関する条例案
	60	彦根市入札監視委員会条例案
	61	彦根市長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案
	62	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案
	63	彦根市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	64	彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	67	損害賠償の額の決定につき議決を求めることについて
	69	平成29年度(2017年度)彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	71	彦根市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
	73	彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	74	彦根市功労者の表彰につき同意を求めることについて
76	平成30年度(2018年度)彦根市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	
諮問	1～7	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

### ■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	21	平成29年度(2017年度)一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について
	22	第30期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について
	23	第21期株式会社夢京橋の決算状況について
	24	第15期株式会社四番町スクエアの決算状況について
	25～29	市の債権の放棄について
	30	平成29年度(2017年度)主要な施策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について
	31	平成29年度(2017年度)彦根市の健全化判断比率等について
	32	損害賠償の額の決定について

### ■ 賛否が分かれた議案等

【賛否が分かれた議案等・審議結果】 (○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	議員																							
				辻真理子	獅山向洋	北川元氣	谷口典隆	夏川嘉一郎	小川喜三郎	赤井康彦	安藤博	八木嘉之	矢吹安子	奥野嘉己	野村博雄	小菅雅至	和田一繁	上杉正敏	中野正剛	山内善男	山田多津子	杉原祥浩	長崎任男	安澤正勝	安居正倫	西川正義	馬場和子
議案	55	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	65	ひこね市文化プラザおよびみずほ文化センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	66	彦根市荒神山自然の家の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	68	平成29年度(2017年度)彦根市病院事業会計の決算につき認定を求めることについて	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	70	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	72	彦根市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	75	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	平成29年度(2017年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	認定	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	8	公共下水道使用料の賦課処分についての審査請求につき意見を求めることについて	審査庁の見解のとおり棄却されるべきとする	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議案	5	2025年国際博覧会の誘致に関する決議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○





質問者  
野村 博雄議員

# 公 政 会

**Q** 百条委員会報告書を  
受け市長責任は

**A** 真摯に受け止め  
市長給与減額を行う

**Q** 百条委員会の調査報告書が出されたが、市長への報告・連絡・相談が十分に行われておらず、市職員との信頼関係や市長のガバナンス力について、また適切さを欠くようにも思われる関係者の処分や人事異動について、そして、管理監督者、最終決定権者として、更には広域ゴミ処理施設建設に関わる問題等課題を抱える中で、市長としての政治的責任につきどう考えるのか。

**A** 事業遂行に向けたマネジメント体制が確立されておらず市長としての管理監督責任を重く受け止め、コンプライアンス推進規程等の制定や入札監視委員会の設置等を図りガバナンス強化に努め、処分や人事異動は規定に則りあるいは任命権者の判断で適切に実施、また報告書の指摘を真摯に受け止め、自らを律するたため今定例会において市長の給与減額の追加提案を行う考えである。



▲百条委員会から出された調査報告書

**Q** 計画通り財政収支改善は  
図れるのか

**A** 収支両面で真剣に  
取り組み着実実施

**Q** 平成31年度予算編成を見据え、本年5月に出された中期財政計画では、平成31年度以降35年度まで、毎年24億円以上の実質収支のマイナスが生じ財政調整基金の枯渇も懸念されることから、枠配分方式の導入、ふるさと納税のPR強化、働き方改革の取組、事業見直し等により収支改善をはかるとされているが、この程度の取組や見直し等で計画通りの収支改善が図れるのか。

**A** 歳入面では、外部委託したふるさと納税の強化推進、受益者負担に則った使用料等の改定、歳出面では、働き方業務改革による業務見直し、コンサルタント業者も入れて事業の廃止等の精査、枠配分方式の導入により各担当部局内での優先度や効果の議論を活発化させ予算規模を抑制する等に真剣に取り組み、財政収支改善を中期財政計画に則り、着実に実施していく。

今後の財政収支見直しについて (単位:千円)

区分	平成30年度 予算ベース	平成31年度 計画1年度	平成32年度 計画2年度
歳入合計	44,687,474	42,948,378	42,889,218
歳出合計	44,687,474	45,377,303	45,638,718
歳入歳出差引	0	▲ 2,428,925	▲ 2,949,502
繰越財源	0	0	0
実質収支	0	▲ 2,428,925	▲ 2,949,502
財政調整基金取崩額	2,300,000	210,695	0
財政調整基金残高	210,695	0	0

区分	平成33年度 計画3年度	平成34年度 計画4年度	平成35年度 計画5年度
歳入合計	42,388,122	40,554,899	41,159,578
歳出合計	45,800,920	43,596,821	44,697,082
歳入歳出差引	▲ 3,212,798	▲ 3,041,722	▲ 3,537,504
繰越財源	0	0	0
実質収支	▲ 3,212,798	▲ 3,041,722	▲ 3,537,504
財政調整基金取崩額	0	0	0
財政調整基金残高	0	0	0

▲収支改善取組前の財政収支見直し

その他の質問  
・教育への取組について  
・滋賀国体へ向けた取組について  
・これからの時代を見据えた老人クラブへの取組について



質問者  
赤井 康彦議員

# 夢みらい

Q 世界遺産1000人  
委員会会員数は

A 設立当時300人程  
今は1127人

Q 官民一体となって彦根城の世界遺産登録を目指す世界遺産登録意見交換・応援1000人委員会が5月に設立されたが現在の進捗状況と今後の事業展望は。市長の公約でもある国宝・彦根城の世界遺産登録であるが、その第一歩である推薦書原案のまとめの進捗状況と見通しへの見解はいかがか。

A 設立総会以降、4回の役員会を開催し情報共有や意見交換を行ってきた。会員数の増加に向けた取組を実施しており、設立当時300人程であった会員数は9月現在で1127人となっている。現在、推薦書原案の練り上げを行っており、学術検討委員会の開催には至っていない。年内には委員会を開催し、今年度末に推薦書原案を文化庁に提出するよう努める。



Q 全国学力テストの結果は

A すべての科目で  
全国平均を下回る

Q 今年で11回目となる全国学力・学習状況調査いわゆる全国学力テストの結果が公表されたが、彦根市の結果はどうだったのか。全国平均であれば良いとの考えをお持ちのようだがもっと上位の目標はないのか。

A 本年度は、全ての科目で全国平均を下回る結果となった。昨年度は、2科目が全国平均を上回っていたことと比較しても厳しい結果であったと捉えており、まずは最初の目標として全国平均を目指していく。

3年前の小学6年生の結果は、4科目合計の全国平均との差が14・4ポイントあったが今回4・4ポイントと改善し学習成果が出たと考えている。

教科等	国語		算数・数学		理科
	A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」	※3年に一度実施
小学校					
全国	8.5問/12問 (70.7%)	4.4問/8問 (54.7%)	8.9問/14問 (63.5%)	5.1問/10問 (51.5%)	9.6問/16問 (60.3%)
滋賀県	8.2問/12問 (68%)	4.3問/8問 (53%)	8.5問/14問 (60%)	4.9問/10問 (49%)	9.3問/16問 (58%)
彦根市	8.4問/12問 (70%)	4.3問/8問 (54%)	8.8問/14問 (63%)	4.9問/10問 (49%)	9.4問/16問 (59%)
中学校					
全国	24.3問/32問 (76.1%)	5.5問/9問 (61.2%)	23.8問/36問 (66.1%)	6.6問/14問 (46.9%)	17.9問/27問 (66.1%)
滋賀県	23.9問/32問 (75%)	5.2問/9問 (58%)	23.5問/36問 (65%)	6.3問/14問 (45%)	17.3問/27問 (64%)
彦根市	23.7問/32問 (74%)	5.3問/9問 (59%)	23.6問/36問 (66%)	6.2問/14問 (44%)	17.8問/27問 (66%)

▲全国学力テストの結果

その他の質問

- ・特別養護老人ホーム空き部屋・空きベッドについて
- ・彦根市の人口減少対策について
- ・障害者雇用促進について



質問者  
辻 真理子議員

# 無所属

**Q** 市立病院事業会計の安定対策は

**A** 収益の増加・経費の削減に努める

**Q** 市立病院は平成28年度から5年間、新改革プランに基づき、経営の安定化を目指している。経常損益の黒字化対策、地域医療支援病院としての病診連携・病連携の緊密化への取組、さらに病床稼働率の安定化対策等、今後の病院事業会計の安定を目指した対策について問う。

**A** 9億4300万円の赤字であった前年度に比べ、大幅に改善した。

病診連携・病連携は、地域医療連携室に看護師を配置して緊密化に努め、紹介率・逆紹介率を改善できた。その結果、病床稼働率は75・7%となり、前年度より6・6ポイント増加した。

今後は、収益の増加に加え、コスト削減が見込める院内照明のLED化などにも取り組んでいく。



▲彦根市立病院

**Q** 市民スポーツの振興が図れるのか

**A** 県に対して再整備を要望していく

**Q** 大久保市長は二期目の選挙公約として「魅力ある文化とスポーツのまちを創る」と掲げられた。桐生祥秀選手や大橋悠依選手が彦根市の名を全国に広めていただいたが、現在、陸上競技場や公立のスイミングセンターがなく、市民のスポーツ振興が図れているとは思えないが、今後の対策は。

**A** 国体・全国障害者スポーツ大会会場となる（仮称）彦根総合運動公園の整備に期待している。新施設が整備される間のスポーツ推進や競技力の向上に対して工事中の代替施設確保を県に要望している。スイミングセンターについては県東北部のスポーツ振興拠点として本市に再整備されるよう、県に要望していく。

その他の質問

- 彦根市のコンプレックスについて
- 彦根市の観光施策の取組は
- 障害者雇用の現状は



▲彦根市出身のアジア大会メダリストを市民会館横断幕で顕彰

市政について  
質す!

# 9月定例会個人質問

16人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

## 各議員が決める

質問の内容は、議案に限らず市政全般から議員個人が決めます。

## 制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

## 動画で見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

- Q** これまでに整備した区域は。
- A** 芹川以北でJR西側と駅東土地区画整理事業区域である。
- Q** 雨水幹線等の整備基準は。
- A** 幹線は1時間雨量で50ミリに対応した施設を整備する。現況側溝等は30ミリ程度で一時的冠水の恐れがある。
- Q** 今後の整備計画の概要は。
- A** 豪雨時溢水により道路冠水が発生しており、安清跨線橋の下から近江鉄道軌道沿に、彦根芹川駅付近を経由して東中学校西側付近までを下流側から約900mを平成37年度完了目標に整備する計画。
- Q** 今年度の予算額は約1億円であるが、施工予定範囲は。
- A** 土留に開削型シールド工法採用のため事業費がかかり、鉄道沿い約80m区間となる。
- Q** すでに完成している安清



小川喜三郎議員

**A**

**Q**

安清跨線橋から約900mを37年目標に整備

猿ヶ瀬排水区の雨水対策  
工事の計画概要は



▲猿ヶ瀬第1雨水幹線

- A** 町側への接続はできないか。
- Q** 計画以外の接続はできない。

### その他の質問

- ・小・中学校、幼・保育園の暑さ対策は
- ・指定避難所の佐和山小学校のマンホールトイレと今後の避難所への設置拡大は



獅山 向洋議員

**Q** 百条委員会の調査報告書の「各委員から出された意見等」には、大久保市長は川嶋前副市長や関係部署との間において協議・報告・相談・指示などがなされておらず無責任で最終決裁権者としてふさわしくない、大久保市長の任命責任・管理監督責任については大いに疑問がある、大久保市長の証言については内容が十分でなく市長としての責任感がなかったと言わざるを得ない、大久保市長に直接的な責任はないと考えるが決裁権者としての責任は非常に重大である、大久保市長はほとんど部下の報告がないにもかかわらず報告を逐次求めなかった点は否めないなどの意見があるが、これに対する反論はあるか。

**A** 反論するつもりはなく、真摯に受け止めたいと思う。

**Q** 百条委員会の調査報告書に対する反論はないか

**A** 各委員から出された意見等に反論はない



▲彦根市役所本庁舎の現状

その他の質問

- ・ 岐建との民事調停について
- ・ 国体用地未買収でも体育センター解体か
- ・ 新ごみ処理施設候補地について



杉原 祥浩議員

**Q** 彦根市が百歳を迎える方にお祝いをしない理由は、

**A** 百歳を迎える方には国と県がお祝いされ、百一歳以上の方は市が毎年お祝いするという整理をした。

**Q** 国、県における敬老祝いの詳細は、

**A** 国からは百歳を迎える方に対して記念品の銀杯と祝状を贈呈され、県からも祝状が贈呈されている。

**Q** 今年度、百歳を迎える方は何人か。

**A** 今年度中に百歳を迎える方は、28人である。

**Q** 彦根市の最高齢の方へのお祝いの内容は、

**A** 男女それぞれの最高齢の方には、市長が訪問し、タオル等の記念品、花束、最高齢の認定証を手渡している。

**Q** 市が百歳を迎える方にお祝いをしない理由は

**A** 百歳では国と県、百一歳以降は市が祝う



▲平成29年度、平成30年度の長寿お祝い品

その他の質問

- ・ 平成28年9月の医療事故の概要について
- ・ 災害時の避難場所となりうる施設のエアコン設置の予定は

## 個人質問



安澤 勝議員

**Q** 埋立て等事業者・土地所有者・土砂等発生元事業者等を規制する法令や条例があるか。

**A** 場所や規模で埋立てを規制する法令はあるが条例はない。

**Q** 規制する条例が必要だと考えるが見解を求める。

**A** 市の事業者への指導により盛土の安全性は一定確保されており、条例の制定までは考えてない。今後も適宜パトロールを行い現状把握に努める。

**Q** 局地的豪雨が降った場合、法面崩壊の危険性についてどのような認識を持っているか。

**A** 西日本豪雨のように線状降水帯により、長時間局地的な降雨を受けた場合は、当該地の盛土法面崩壊の危険性は高まる。

**Q** 崩壊した場合責任の所在



土砂等の搬入を規制する条例はあるか



無いが、現行の適用条例で対応できる

**A** は。法面の所有管理者の責任である。



▲山積みされた工事残土から市道へ流出する土砂

### その他の質問

・ 中心市街地の活性化対策について



長崎 任男議員

**Q** 彦根市の学校給食が美味しくない、何とかしてほしいとの意見が聞かれる中で、市は学校の給食の評判についてどのように認識しているのか。

**A** 「味が薄い」などの意見をいただいているが、正しい食習慣の形成時期でもあることから、外食のように調味料で味を濃くするのではなく天然由来の昆布や魚のだし、汁物の具材を増やし、味付け方法や調理方法を変えることで味については一定改善が進んでいるものと考えている。

**Q** 残食を減らすための対策

**A** 献立の工夫により残食の削減に努めるほか、各学校において、例えば「残食ゼロ大作戦」や「給食グランプリ」という、各児童・生徒が給食を残さない意識や感謝の気持ちを持つための取組を行うなど、



彦根市の給食の評判をどう認識しているか



一定改善が進んでいるものと認識している

ど、残食の削減を図っている。



▲給食センターでの調理風景

### その他の質問

・ 四番町スクエアへの「ひこにゃん」の登場効果は  
・ 観光誘客についての施策は



和田 一繁議員

**Q** ジョージア国ムツヘタ市訪問の目的は。

**A** 本年3月に、在日ジョージア大使館の特命全権大使が来訪され意見交換させていただいた際にジョージア国内の自治体との交流について打診があった。その後世界遺産都市であるムツヘタ市長から本市との交流の意向が示され、在ジョージア日本大使館から、ジョージア国ムツヘタ市訪問やムツヘタ市長との会談および市内視察について招待を受けたことから、スペインへの渡航の機会を捉え自治体間交流に向けた検討を目的に訪問した。

**Q** ジョージア国ムツヘタ市訪問の目的とは

**A** 自治体間交流に向けた検討を目的に訪問



▲ジョージア国ムツヘタ市の位置

その他の質問

- ・ SNSを活用した行政の情報発信について
- ・ 開国記念館について



夏川嘉一郎議員

**Q** 近年、全国規模でソーラー建設が拡大。それとは裏腹に各地市民の建設に対する苦情等が多発。原因は、自然工

ネ活性化は歓迎するも、自然環境破壊、地域との景観不適合等である。すでに全国各地で規制の動き有り。本市も早めの法的規制、即ち条例化を考える時。当局の見解を問う。

**A** 太陽光発電設備の設置等に関する条例は有効な規制手法の一つであり検討を進めた

**Q** 太陽光発電設備に関するトラブルは自然環境や景観に関するものがメイン。このことから、徹底した自然環境や景観等の保護、むしろ強化するという視点で対処すべき。条例で、周辺を樹木で囲むことを義務付けることについて見解を問う。

**A** 関係部署と充分協議し、

**Q** ソーラー建設に関する条例制定への見解は

**A** 太陽光発電設備の設置に関する条例を検討中

条例内容を検討したい。



▲荒神山周辺に設置のソーラー

その他の質問

- ・ 大災害時代に自助、共助の体制強化こそ喫緊の課題では
- ・ 行財政改革に内在する問題点は

## 個人質問



北川 元気議員

**Q** ヘルプマーク・ヘルプカードの普及・啓発を

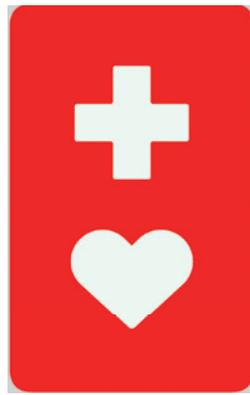
**A** 市役所、市立病院、各支所出張所でも配布

**Q** 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見からは容易に判断が難しいハンディのある方が、周囲に援助や配慮が必要であることを知らせるヘルプマークおよびそのマークを配したヘルプカードについて、彦根市の取組状況は。

**A** 県作成のヘルプマークは、障害者福祉センター、市役所本庁舎、市立病院、各支所出張所、HPや広報ひこね等で、また民間団体作成のヘルプカードは、障害者福祉センターで周知・啓発を行っている。

**Q** 障害福祉課だけでなく市役所や病院等でも配布をお願いできないか。

**A** ヘルプマークは、新たに市役所保険年金課の窓口や市立病院、各支所出張所を配布場所にした。



▲ヘルプマーク

### その他の質問

- ・平成30年度全国学力・学習状況調査結果について
- ・市立小中学校におけるブロック塀等の緊急点検について



小菅 雅至議員

**Q** 市立病院の「ながらワーカー」への支援は

**A** 地域がん診療連携拠点病院の責務を果たす

**Q** 市立病院の「ながらワーカー」への支援について、病院事業管理者の考えは。

**A** 市立病院は、「地域がん診療連携拠点病院」としての責務を果たすため、相談支援にも力を注いでいる。「がん治療を受けながら働く人たち」を支援するため、専門スタッフの体制を質・量ともに充実させ、滋賀産業保健総合支援センターや職業安定所等と効果的な連携を図りながら、相談支援の充実に努めていきたい。

**Q** 福祉日本一を掲げる市長の「ながらワーカー」への支援に対する考えは。

**A** 働く意欲と能力がある患者さんが治療を理由に職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられる支援体制が必要であると考えている。



▲彦根市立病院

### その他の質問

- ・がん検診の受診率の推移と現状は
- ・受診率の向上に対する取組は
- ・ながらワーカーの相談内容の現状は



奥野 嘉己議員

**Q** 7月豪雨時の稲枝地区での内水氾濫について

**A** 改善できるところは改善していく

**Q** 7月豪雨の際、稲枝地区で内水氾濫が発生した。琵琶湖の基準水位+77cmと増水する中、水資源機構の稲枝排水機場では+50cmから排水作業を実施。一方、柳川町から新海町にかけて、市は排水ポンプを準備したが、+77cmに至っても排水作業に着手せず、結果、内水氾濫が生じた。排水操作規定の見直しへの見解は。

**A** 機構の操作基準に基づき対応したが、様々な意見もあり、改善できる点は改善する。

**Q** 長年の地区要望である田附町、南三ツ谷町から不飲川への横引き水路設置へ県と強い協議をお願いするが見解は。

**A** 横引き水路の早期完了に向けた取組を行う。

**Q** 県所管のダム放流時に市民にわかる広報をすべきでは。

**A** 市民にわかりやすい発表を県に働きかけていく。



▲稲枝排水機場

その他の質問

- ・国体主会場用地について
- ・入札監視委員会について
- ・工事の再積算について



八木 嘉之議員

**Q** 副市長の産業部長兼務はいつまで続くのか

**A** 9月市議会閉会后に適切に判断したい

**Q** 産業部長の退職により、山田副市長が産業部長を兼務するという人事が発表された。産業部長を兼務する人事を決められたのは市長なのか。

**A** 市長が判断した。

**Q** 特別職の者が部長を兼務すること自体は問題ないのか。

**A** 特に問題ない。

**Q** 庁内のガバナンス機能を強化すべきタイミングにおいて、専任の部長を配置すべきという意見はなかったのか。

**A** 専任の部長を配置すべきという意見もあつた。

**Q** 部長になるべき人材がおりなかつたのか。

**A** 人材がおられなかつたものではない。9月市議会の開会を前に最小限の影響にとどめたものである。

**Q** 兼務はいつまで続くのか。

**A** 9月市議会の閉会后に適切に判断したいと考えている。



▲議場の副市長兼産業部長と記された標柱

その他の質問

- ・株式会社四番町スクエアの経営について
- ・本市の入札にかかる実情について

# 個人質問



中野 正剛議員

**Q** 観光客とひこにゃんとの記念撮影を可能にする

**A** 現在、アプリケーションの開発が進んでいる

**Q** 今のひこにゃんの人気は、彦根城での観客数は、H20年で約11万5千人、今は約38万2千人と増加している。

**A** 彦根城での観客数は、H20年で約11万5千人、今は約38万2千人と増加している。

**Q** ひこにゃんとのツーショット撮影は可能か。

**A** 年間38万2千人のお客様にお越しいただいており、全ての方とツーショット撮影に応じることは難しい。

**Q** ARの機能を活用して、ひこにゃんとのツーショット撮影ができないか。

**A** 現在、株式会社夢京橋でARの機能を活用してひこにゃんとツーショット写真を撮ることができるとのアプリケーションを開発されている。

**Q** 2024年の滋賀国体でARを活用した、ひこにゃんとの記念撮影ができないか。

**A** 2024年まで時間はあるので、予算を含めて検討していきたい。



▲弓道をするひこにゃん

## その他の質問

- ・女性視点の防災情報を広報ひこねで発信しては
- ・がん教育全面実施に向けての取組は



山内 善男議員

**Q** 百条委の終結をけじめとして市長は辞任を

**A** 重大な責任と痛感。完成させ責任を果たす

**Q** 庁舎耐震工事の9億4千万円の減額が不正に行われていたが、懲戒審査委員会の答申を受け処分をいつ行うのか。

**A** 百条委の報告がされ処分と時期を適切に判断する。業者と工事解約の調停を行っているがこの推移も参考にしている。

**Q** 調停と処分は関係ない。問題をまた先送りするのか。

**A** 報告書では判然としない。業者との交渉前の打合せで3工事を抜くと交渉担当の部長はいったというが、他の2人の部長は知らないという、川嶋前副市長は指示していないと証言。真相は明らかでは。

**A** 川嶋前副市長が交渉を指示し条件変更を承認した。

**Q** 9億4千万円も抜く判断をいち部長が行ったと誰も思っていない。市長への疑惑はより深まった。辞任すべきでは。

証人尋問日	証人
H30年5月22日	山本前都市建設部長
	岐建(株)滋賀支店小菅支店長
	川嶋前副市長
H30年5月23日	大久保市長
(H30年7月11日)	(市の執行部に聞き取り)

証人尋問と委員会からの聞き取り経過

▲証人尋問の日程

## その他の質問

- ・固定資産税の分割納付の通知を一括送付にしたのは、なぜか
- ・差押えは市民の生活に寄り添った結果か
- ・生活相談窓口設置を



山田多津子議員

**Q** 愛のりタクシーとバス料金は統一にすべき

**A** 統一料金は困難だが複数利用者の半額を検討

数利用者の半額を検討する。

**Q** 地域交通は生活をするための基本であり、交通手段を守ることは住民福祉の機関としての役割を果たすことが自治体本来の役割である。市民の移動手段を確保するためバス路線廃止に伴い、公共交通を補完する目的で導入された愛のりタクシーだが路線バスと料金に大きな差異があり整合性がないことへの見解は。

**A** 一定数を運べるバス路線と違い、タクシー車両を使う愛のりタクシーは一度に2、3人の利用を想定しており450円、900円の運賃となる。

**Q** 長浜市や米原市のように公共交通の観点から、市民利用の公平性からも、バス並みに料金を一律にすべきである。

**A** 愛のりタクシーを財政的にも持続可能なものにするため定額制の導入は困難だが複



▲愛のりタクシー

その他の質問

- ・国体用地取得の難航が彦根市にもたらす影響は
- ・市民の投票する権利が守られているか



上杉 正敏議員

**Q** 通学路におけるブロック塀等の安全確保を国土交通省が示す支援策の活用を検討する

**A** 国土交通省が示す支援策の活用を検討する

きたいと考えている。

**Q** 安全性に問題のあるブロック塀等を有する学校等はあるか。

**A** 建築基準法の基準に適合していない園が1園あった。

**Q** 通学路に面しているブロック塀等の撤去費用の支援は。

**A** 現在、本市において、民間のブロック塀等の撤去費用等に対する支援制度はない。

平成31年度の国土交通省予算要求で、平成30年6月に発生した大阪北部地震による被害を踏まえ、ブロック塀等の安全性を確保するため、危険なブロック塀等の除去、改修等を支援する方針が8月末に公表された。

今後、詳細な内容の把握に努めると共に、滋賀県とも調整を図りながら通学路に限らず道路に面している民間のブロック塀等の撤去費用等に対する支援について検討してい



▲通学路

その他の質問

- ・国土強靱化地域計画の取組について

## 個人質問



谷口 典隆議員

**Q** 来年度、県が予定している京橋の修繕工事の工期は。

**A** 工法にもよるが、数ヶ月は必要になると聞いている。

**Q** 同工事が本市の観光や地域経済に与える影響は。

**A** 彦根城域と夢京橋キャットスルロード間が分断されることにより周遊性が損なわれ、観光消費額等に相当影響が出る。

**Q** 観光や地域経済への影響を最小限に留めるため、工期の見直しや代替輸送の確保も検討するべきではないか。また京橋は通学路でもあり、城西小や西中の児童・生徒への影響も懸念されるが対策は。

**A** 観光シャトルバスやスクールバスの運行の検討が必要になるが、工事期間中も歩行者については通行できるような要望する。また、観光等に比較的影響の少ない時期の施工



京橋修繕工事の対策として代替輸送の確保を



彦根城域からのシャトルバス運行も検討する

についても県に要望していく。



▲多くの市民や観光客が利用する京橋

### その他の質問

- ・ 稲枝東幼稚園空調設備の弾力的な使用を
- ・ 自主避難所として東地区公民館も開設を
- ・ 四番町スクエアへの貸付金について

### 9月定例会追加議案等に対する個人質疑

議案第77号の平成29年度決算に関して、2名の議員（獅山向洋議員、奥野嘉己議員）から、収支について、財政指標について、不用額が多くなったことへの見解等について個人質疑があった。



▲議案第77号関係資料

## 決議案を賛成多数で可決しました

### 2025年国際博覧会の誘致に関する決議

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、滋賀県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、県内各地域の振興や住民の生活向上にも寄与することが期待できるものであり、滋賀県市議会議長会においても、国際博覧会誘致を支持することが確認された。

しかし、大阪湾の人工島・夢洲を国際博覧会の会場とする構想では、IR(カジノ)と関連した取り組みが示されており、IR(カジノ)の課題が指摘され、その課題解決に向けた方策が明らかでない現状では、本市議会は国際博覧会とIR(カジノ)は、個別に構想すべきものとの見解に立つ。

以上のことから本市議会としては、大阪・関西での国際博覧会の開催意義を認め、その誘致・実現に向けた機運の醸成など、必要な取り組みを関係機関等とともに積極的に推進する。

以上決議する。

平成30年(2018年)10月11日

## ひこね市議会だよりを「ひこまち」や「マチイロ」に掲載します！

平成30年11月15日発行のひこね市議会だより第143号から、市議会の情報を各アプリでご覧いただくことができます。



▲ひこまちアプリのアイコン画像



▲マチイロアプリのアイコン画像



←ひこまち

**ダウンロードは  
こちらから！**



←マチイロ

アップストア・グーグル  
プレイから無料でダウン  
ロード可能です。

※通信料は利用者の負担  
です。

## 彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。平成30年7月から9月までの状況についてお知らせします。

視察日	議会名	視察項目
7月12日	大阪府中部市議会議長会	・議会改革の取組について
7月19日	愛知県蒲安市議会	・政策立案、政策提言について ・議会改革の取組について
7月20日	福岡県岡垣町議会	・議会報告会について
7月26日	広島県福山市議会	・城を生かしたまちづくりについて
7月27日	高知県南国市議会	・議会改革について
7月30日	石川県白山市議会	・子ども・若者の居場所づくり事業について
8月 3日	鹿児島県日置市議会 長野県上田市議会	・若者支援の取組について
8月22日	栃木県栃木市議会	・中心市街地活性化（市街地再開発）について

## 第27回議場コンサートを 開催します

### 第27回議場コンサート（予定）

- 日時 12月3日（月）13時から13時30分
- 場所 彦根市議会議場（市役所本庁舎5階）
- 出演 滋賀川崎民謡会
- 内容 三味線と民謡です。会主の川崎 雅女さんも来られます。



市議会では、市民の皆さんに議会に親しんでいただくことを目的に、議場を使って市民の音楽愛好家の方々によるコンサートなどを開催しています。

今回は、平成30年12月定例会の開会日（12月3日）に開催します。

議場コンサートは、事前申し込み不要です。数に限りはございますが議員席にもお座りいただけます。

## 議会報告会を 開催しました

平成30年7月13日に「第26回彦根市議会議会報告会『カタリバ』」を開催しました。

今回は「考えよう 彦根の農業」をテーマにワールド・カフェ方式で市議会と連携協定を締結している滋賀大学の学生をファシリテーターに迎え、意見交換を行いました。

農業関係者や県内外の皆さんをはじめ、たくさんの方にお集まりいただき、リラックスした雰囲気の中で、活発に多様な意見が交わされました。

今回ご参加いただいた皆さん、またご協力いただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。



### 編集後記

続けて襲来した台風、北海道胆振東部地震にてお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。また、被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

過去最大と言われた台風21号。彦根市でも観測記録を更新する最大瞬間風速46.2mの暴風を記録し、彦根城を含む文化財やビニールハウスの破損等市内各所に甚大な被害がもたらされました。

9月定例会におきまして、今回の台風で被害を受けた文化財やビニールハウスの破損修理にかかる補正予算も可決しました。議員一同、市民の安心・安全が守られるまちづくりを目指して、防災強化に努めてまいります。

広報委員会



## 次の定例会は 12月です

### 本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
12月 3日(月)	開 会	9:00
12月10日(月)	個人質問	9:00
12月11日(火)		
12月12日(水)		
12月13日(木)	予算常任委員会	9:30
12月14日(金)	企画総務消防常任委員会	9:30
12月17日(月)	福祉病院教育常任委員会	9:30
12月18日(火)	市民産業建設常任委員会	9:30
12月20日(木)	閉 会	9:00

議会の傍聴は事前申し込み不要です。お気軽にお越しください。